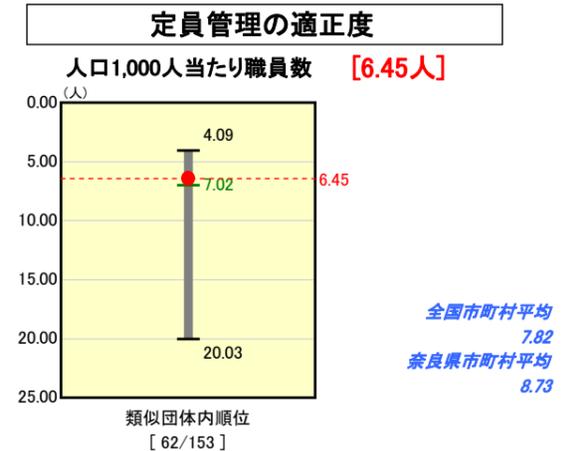
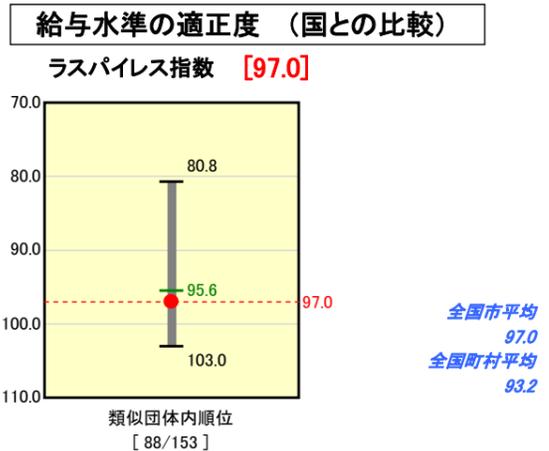
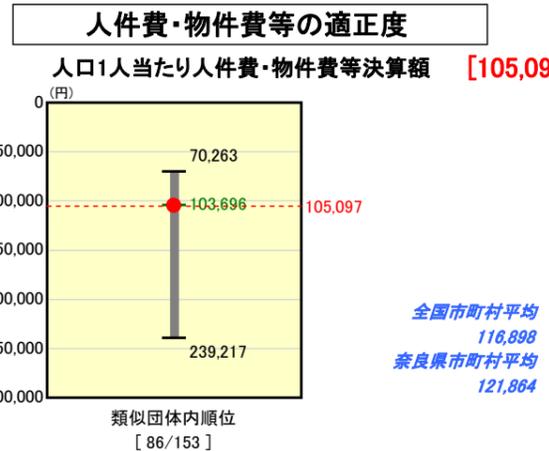
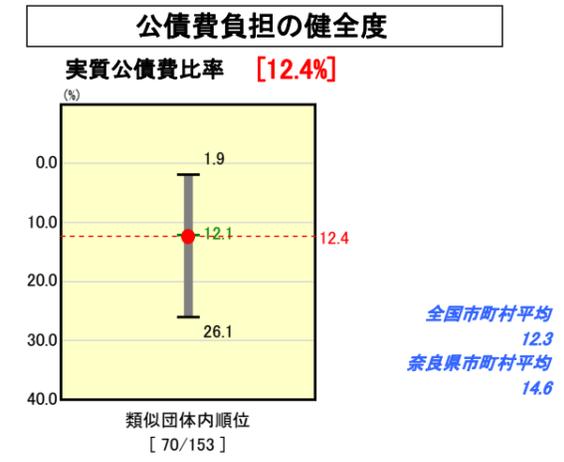
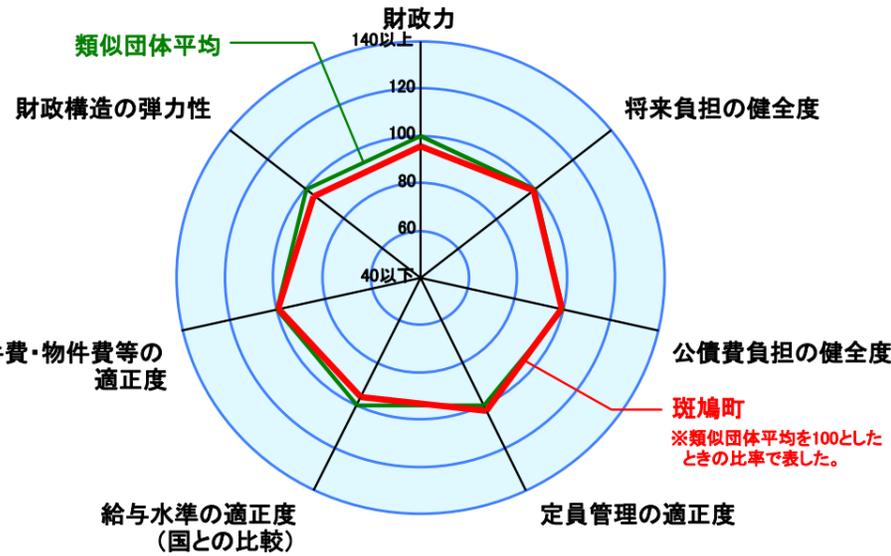
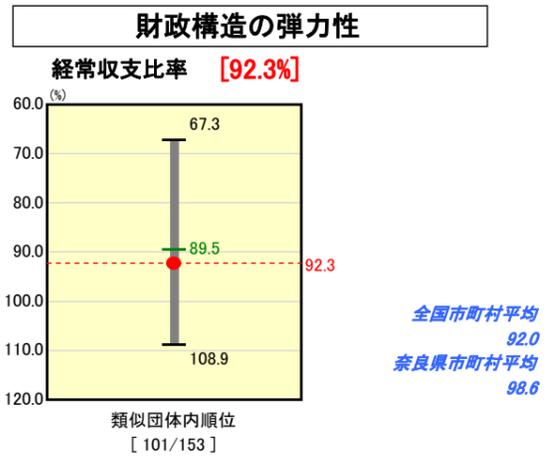
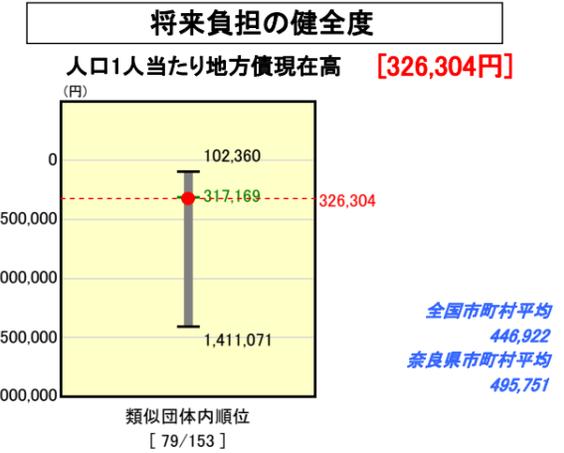
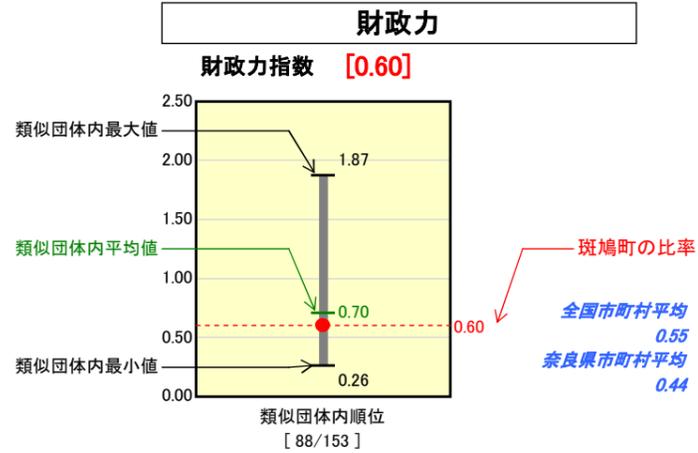


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 斑鳩町

人口	28,390人	(H20.3.31現在)
面積	14.27	km ²
歳入総額	8,775,157	千円
歳出総額	8,390,445	千円
実質収支	247,036	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数については、前年度より0.03ポイント向上しているが、これについては、地方交付税改革による実態を伴わない向上となっている。引き続き事務事業の見直しや事業手法の見直し等による歳出の抑制及び徴収強化等による歳入の確保により、財政力指数の向上に見合う行政運営となるよう努力していく。

経常収支比率については、厚生福祉施設(火葬場)及びふるさとづくり事業(一部)等に係る償還の終了に伴い、0.8%改善した。少子高齢化による扶助費の増加等、今後増加する財政需要を抱える中、経常一般財源収入の減少に歯止めがかからないため、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

人件費・物件費等決算額については、前年度よりさらに減額し、類似団体平均に近づけることができたところである。今後もマイナスシーリングの実施や既存直営事業の委託化などをすすめ、さらなる縮減を図っていく。

ラスパイレス指数については、昨年と同様平成19年度数値との比較のため増減はないが、給与については、今後とも国準拠を基本に適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数については、定年前早期退職者の増加及び新規採用職員の抑制により、平成15年策定の第2次定年適正化計画による目標値を20人上回る減員を達成している。また、類似団体平均を下回る状況となっていることから、マンパワーの確保を図りつつ、今後も適正な定員管理に努めていく。

実質公債費比率については、2.8%改善し、ほぼ類似団体平均に近づいたところである。厚生福祉施設(火葬場)及びふるさとづくり事業に係る償還が順次終了するものの、JR法隆寺駅周辺整備事業や総合保健福祉会館建設事業等の大型事業の償還が順次開始するため、普通会計のみならず、公営企業や一部事務組合の抑制もすすめ、数値の急増を回避する。

人口1人当たり地方債現在高については、実質公債費比率と同様に当面の上昇が懸念される。大型建設事業により地方債の活用はやむを得ないところではあるが、各事業の見直しなどにより、数値の急増を回避する。